



学校だより NO. 13

たきのみや



令和5年10月18日
綾川町立滝宮小学校
発行：宮谷 恭彦

「〇〇の秋」 あなたはどうする？なにをする？

♪小さい秋 小さい秋 見つけた♪ 秋は、夏や冬と違って
見つけるものだとか…？秋といえば、「〇〇の秋」と言われること
が多いですが、なぜでしょうか？ちょっと深堀してみましょう。



食欲の秋

秋は、栗や梨、ぶどう、お米や秋刀魚など、多くの食材が旬を迎え、食欲をかきたてる食材が充実していることで「食欲の秋」と呼ばれるようになったそうです。



読書の秋

中国の「灯火親しむべし」を夏目漱石が取りあげたことで、「読書の秋」が浸透したようです。「灯火親しむべし」は明かりを灯して読書をするのに最適ということです。



行楽の秋

スポーツや収穫体験などのイベントが多く行われ、紅葉などの自然も鮮やかな季節。過ごしやすくお出かけ日和が増えることから自然と「行楽の秋」という言葉が生まれました。



スポーツの秋

1964年10月に東京オリンピックの開会式があった10月10日が【体育の日】となりスポーツイベントが活発になり「スポーツの秋」が定着したようです。



芸術の秋

雑誌『新潮』で使われた「美術の秋」という言葉がもとだと言われています。芸術を楽しむ余裕ができる季節。この感覚をもとに、「芸術の秋」が定着したようです。



今後の主な行事予定

- 10月18日(水) 教員研修 下校 12:40 3W14:40
- 20日(金) 学校諸費引き落とし日
- 21日(土) 再資源回収
- 23日(月) 教員研修 下校 14:00
弁当の日(5・6年)
- 23日(月) ~ 29日(日) 23が60 読書運動
月末漢字・計算スキルテスト週間
- 25日(水) 就学時健康診断 下校 12:40
- 26日(木) 教員研修 下校 12:40
- 31日(火) 9:15~ 6年修学旅行説明会
4・5年授業参観
10:20~ 家庭教育学級
11:15~ 1・2・3年授業参観
- 11月 3日(金) 県選抜陸上大会(6年)
- 4日(土) 県選抜陸上大会(5年)
- 5日(日) 校区文化祭
- 7日(火) 研究授業4E 下校 15:00
4E以外 下校 14:00
- 9日(木) ~ 10日(金) 修学旅行
- 10日(金) 校外学習(1年~5年)



- 11月14日(火) ワークショップ
- 15日(水) 教員研修 下校 12:40
- 16日(木) うどんふれあい教室(6年)
- 20日(月) 学校諸費引き落とし日
- 12月 5日(火) 学校諸費引き落とし日
- 7日(木) 巡回公演民族芸能
- 8日(金) 校内マラソン大会
- 19日(火) 非行防止教室(4・6年)
- 20日(水) 21日(木) 期末懇談会
下校 12:40
- 22日(金) 第2学期終業式 下校 14:00
- 23日(土) ~ 1月8日(月) 冬休み
- 1月 9日(火) 第3学期始業式 下校 14:00
- 19日(金) 学校諸費引き落とし日
- 23日(火) 児童会立会演説会
- 30日(火) 児童会交代式
- 31日(水) 新入生入学周知会
- 2月 5日(月) 縄跳び大会週間



“継続は力なり” 発表会・記録会！

これまで継続的に取り組んできたことを発表会や記録会で思い切り披露する滝っ子たち。まさに実りの秋です。

ダンス発表・科学体験発表

13日（金）町運動公園体育館で郡文化祭のダンス発表会が4年ぶりに開催されました。4年生の48名が参加し、夏休み明けからコツコツとしてきた練習の成果を発揮し、みんなで、メリハリのある感動的な表現を披露しました。

同日行われた科学体験発表会では、「綾川のアユを守れ！ - 45日間の僕の大追跡 -」と題して、夏休み等を使って継続的に研究してきたことを力強く発表し、県代表に選ばれました。



自己ベスト！陸上記録会

4日（水）町総合運動公園陸上競技場で綾歌郡内の7校の5・6年生の選手、約240名が集まって、記録会が行われました。自己ベストを目指して練習の成果を発揮し、金9、銀3、銅3という輝かしい成果を収めました。24名が県大会へ出場します。この経験を活かして、あらゆる面で自己ベストをめざしてほしいと願っています。



ちょっと一息！コーナー —“荷ほどき”の重要性！—



“行楽の秋”ということで、どこかへお出かけになることもあると思います。さて、観光客の方のように旅慣れた方の多くは、ホテルに着いたら、まず“荷ほどき”をして、スーツケースを空っぽにするそうです。どんなに滞在期間が短くても、部屋の備え付けのタンス等に荷物を整理します。一旦カバンの中身を全て取り出した方が便利で、帰りの荷造りも早くできるからです。

他のことも同じで、忙しいときほど、また、悩み多き時ほど、一度頭の中から全てを取り出し（書き出し）並べてみると、功を奏することがあります。すべてを自己完結処理できる方は、複数のことを同時に考えられる方ですが、多くのことが山積してしまうと、何度も同じ内容をぐるぐる考えるようになります。足踏み状態のまま前に進めなくなります。現状を冷静に見て、直ちに手を打つべきこと、先延ばしにしても良いこと、悩んでもどうにもならないこと…と仕分けすることで、うまくいくこともあります。大人も子どもも“荷ほどき”は大切かもしれません。 — 県教委 メンタルヘルス通信より —